KOUCHOU SENSEI kara HITOKOTO

県下ナンバーワンを目指せ

校長 山中 泉

「人は好きな人、それも尊敬できる人からのみ、文化と伝統を受け継ぐことができるようにプログラミングされている」… 冒頭文は、入学式の式辞の中で紹介したノーベル賞を受賞した動物行動学者のローレンツ博士の言葉です。今年度の新入生241名には、教育に高い理想と熱い情熱を持っている先生方と部活動や生徒会活動に主体的に行動できる先輩がたくさんいる巨摩高校での教育環境に早く慣れて、尊敬できる人を見つけて、創立88年目の本校の文化と伝統に新しい風を送り込むことを大いに期待しています。

過日5月11日から13日に第63回山梨県高等学校総合体育大会が実施されました。初日は激しい雨が降りしきるあいにくの天気でした。特にその雨の中、陸上競技会場では多くの種目の予選・決勝が実施され、競技と応援に真剣な眼差しで熱く取り組む巨摩高生の横顔が強く印象に残りました。主な成績は弓道部女子とホッケー部が優勝、陸上部男女と弓道部男子が準優勝、女子バレー部と剣道部がベスト4に入りました。学校対抗の総合成績は、男子が昨年の14位から大きく飛躍し8位、女子は昨年からの連続3位の素晴らしい結果を残すことができました。さらに男女の合計総合得点順位は、県立高校の中では第1位の結果でした。これは昨年度の県内国公立大学の大学推薦合格数28名が、県立高校の中で第1位の数の成果を達成した事とあわせて、まさに本校の教育目標文武両道を見事に達成しているバランスの取れた高校生の理想の姿を体現していると言えます。

今年も標語は『CHALLENGE』です。学習に部活動そして学校行事に青春の汗を流し、友情を深め、感動を共有することを期待しています。巨摩高校には躍動感あふれる高校生活3年間を送るにふさわしい舞台があります。主役は生徒です。さらなる県下ナンバーワンを目指して保護者や地域の方々と連携し、全校一丸となって取り組みたいと思います。

TO GET THE 1ST IN YAMANASHI

●男子成績 総合得点:17点

競技名	成績	得点	
陸上	準優勝	7点	関東大会出場
弓道	準優勝	5点	関東大会出場
剣道	ベスト4	3点	関東大会出場
卓球	ベスト8	2点	関東大会出場

●女子成績 総合得点:26点

競技名	成績	得点	
弓道	優勝	7点	関東大会出場
ホッケー	優勝	2点	関東大会出場
陸上	準優勝	7点	関東大会出場
スキー(陸上部)	準優勝	3点	
バレーボール	3位	5点	関東大会出場
卓球	ベスト8	1点	
バスケットボール	ベスト16	1点	

特集 平成22年度卒業生 進路実績

国公立大学 現役合格者数が47名に!! 推薦入試での合格者31名は、県内トップレベルの実績!!

健闘した平成22年度卒業生

本年度、本校の国公立大学への合格者数は、現役47名と浪人3名で、合計は50名まで伸びました。推薦入試での合格者31名は、県内トップレベルの実績でした。

この要因としては、

❶早い時期から志望大学を絞り込み、十分に大学の研究をしたこと。

❷部活動と学習の、高いレベルでの両立の成果を推薦入試に生かしたこと。

❸最近重視されるボランティア活動やインターンシップへの取り組み。

❹小論文や面接に対する全教職員の一丸となった指導。

などがあげられます。

「早い時期」から合格を目指して、面接や小論文の練習を続けた生徒と、それを支えた先生方とが力を合わせて、強い気持ちを持って推薦入試を突破したと言えます。

一方、一般受験組は、最後まで、問題演習や小論文などの準備を続けていました。後期日程で栄冠を勝ち取った生徒は、卒業式の後も自主登校し、二次試験対策を行っていました。「最後まであきらめず、最後まで志望校に向かって全力を出し切る」ことが極めて重要です。

(進路指導部)

本校における過去5年間の国公立大学合格状況 (単位:人)

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
推薦入試	10	21	22	21	31
一般入試	17	13	20	15	16
合 計	27	34	42	36	47

合格者数と主な合格大学

●国公立大学 50名 (内 過年度卒業生3名)
筑波大学 群馬大学 埼玉大学 千葉大学 信州大学 静岡大学 山梨大学
秋田県立大学 静岡県立大学 奈良県立大学 山梨県立大学 都留文科大学 他

●私立4年生大学 161名 (内 過年度卒業生2名)
明治大学 法政大学 青山学院大学 東京理科大学 中央大学 日本大学 他

●公立短期大学 2名 ●私立短期大学 24名

●専門学校 59名 ●就職 6名

巨摩高にゅーす

響け 負けないで

東日本大震災復興支援チャリティーコンサート

東日本大震災復興支援に協力しています。
生徒会では、3月と5月に義援金を募り、日本赤十字社に送りました。陸上競技部では、避難所になっている仙台の中学校に勤務しているOGを少しでも勇気づけようと、義援金を山梨日々新聞社に届けました。
学校としても、教職員の募金の他に、テント2張りを県教育委員会を通じて届けています。また、PTAを通じての募金活動も進めています。
こうした中、吹奏楽部はチャリティーコンサートを開催し、多くの皆様から義援金のご協力を頂きました。部員、保護者会からの募金を加え、日本吹奏楽連盟を通して被災地の学校に送りました。

KOMA KOU NEWS